

日時・場所	平成29年2月27日（月） 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、川端教育長、立入議会事務局長、寺田政策調整部長、大藤政策調整部政策監、遠藤総務部長、上田市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、白井環境経済部長、藤池教育部長、野玉会計管理者、服部広報秘書課長、事務局（企画調整課）

1. 市長指示事項

- ・今年度もあと1か月となった。職員に過重な仕事がかからないよう配慮しつつ、仕事をさばきながら、スケジュール感を持って仕事を進めること。
- ・昨日、市民病院の基本設計案について、市民や利用者の皆さんの意見を聴く市民懇談会を開催し、会場に入りきらなくらい多くの方々に参加いただいた。熱心に議論いただき、様々な有益な意見をいただいた。可能な限り基本設計に入れ込んでいきたいと考えている。このように、様々な計画等を策定するにあたっては、広く市民の意見を聴く形で進めている。先週開催した余熱利用施設整備基本計画検討委員会においても、傍聴者から意見を聴くという形をとった。まだまだ不十分な点もあるが、できるだけ良い計画等ができるように、市民の施設、利用者の施設という視点で、なお一層の努力をもって取り組むこと。
- ・財務省近畿財務局が国有地を安価で売却した問題が世間を騒がせているが、このようなことがまだ国で実際行われていることに愕然としている。皆もびっくりしていると思うが、前時代的であり、記録も残っておらず、責任者が何も言わないことが信じられない。本市の場合は、透明性・公平性・公正性を高めてきたので、他山の石にせよというわけではないが、国がそうであれば自治体もそれでいいという変な安心感による質の低下につながらないようにすること。本市でも今まさに、土地開発基金や野洲駅南口に関連する過去の土地の取扱いについて整理をしているが、決して影響を受けないようにすること。

2. 報告事項

① 平成29年度野洲市通学路交通安全プログラムについて

〔所管： 教育委員会〕

野洲市と野洲市教育委員会は、通学路の交通安全を確保するため平成28年3月に「野洲市通学路交通安全プログラム」を策定し、通学路交通安全推進会議を中心に関係機関と連携して合同点検、交通安全対策および対策後の効果検証等をPDCAサイクルにより継続的に繰り返し実施してきた。今回策定する平成29年度野洲市通学路交通安全プログラムの昨年度からの主な改正点としては、分かりやすくするためにイメージ図や写真を挿入したこと、PDCAサイクル毎に実施する内容を整理したこと、対策箇所についてはハード対策完了と未完了に分けて整理したこと等である。安全点検時間は昼間から朝の通勤時間帯に変更した。安全対策必要箇所の今後の方向性として、ハード対策としては、グリーンベルトの設置、関係機関への信号・転落防護柵等の設置依頼、ソフト対策としては、スクールガードやPTA等による見守り、子どもへの安全教育等である。今後も、本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていく。

→丁寧に着目されたいとされているが、理念や理論が大事である。子どもの危険回避能力を高めないといけないし、運転者は標識があるから止まるのではなく、狭い道を通る時や歩行者がいる時は徐行しなければならない。そのようにならないといつまでも改善されない。

→保護者や地域住民の安全指導や対策を強化するとなっているが、新学期は仕方がないとしても年中の対応は大変である。スポーツは大人に指導してもらい上手くなるのに、通学に関しては学校を卒業するまで成長できない環境をつくってしまった。保護者、地域住民、先生による指導は大事だが、子どもたちが成長し意識が高まっていくという前提で取り組まないと、子どもの成長が妨げられてしまう。

3. 協議事項

なし

4. その他伝達事項

- ・市民が1人、2月19日から行方不明になっておられる。情報収集に協力いただきたい。

5. 次回部長会議

3月6日（月） 8時45分～ 庁議室